

平成30年度第1回水産研究所研究評価委員会（事前・中間評価結果）

日時	平成30年12月13日（木）9時30分から12時00分まで		
場所	水産研究所2F会議室		
委員	（大）三重大学 大学院生物資源学研究所	教授	神原 淳
	（国研）水産研究・教育機構 増養殖研究所	業務推進部長	浜野 かおる
	生活協同組合コープみえ	副理事長	大野 智香子
	三重県漁業協同組合連合会	指導部長	植地 基方
	北村物産株式会社	代表取締役専務	北村 裕司

事前評価 平成31年度の新規予定課題
「水産物付加価値向上研究事業」
「内水面資源活用高度化研究事業」
項目を研究の必要性、効率性、有効性とし、各項目について5段階（5点：かなり高い、4点：やや高い、3点：普通、2点：やや低い、1点：かなり低い）の評価を実施した。
結果は下表のとおりで、委員による各事業の総合評価は、4以上であった。

事前評価結果（数字は委員5名の平均得点）

課題名	必要性	効率性	有効性	総合評価 (平均)
水産物付加価値向上研究事業	4.6	3.8	4.4	4.3
内水面資源活用高度化研究事業	4.4	3.8	4.0	4.1

中間評価 「伊勢湾産アサクサノリの特産化に向けた研究」
「サミットのレガシーを活用した海女漁業活性化事業」
項目を研究の進捗、目標達成の可能性、課題の取扱いとし、評価を実施した。結果は下表のとおりで、課題の取扱いでは両事業とも全委員が「継続して課題を完成させる」と評価した。

中間評価結果（数字は委員5名中の該当委員数）

課題名	研究の進捗				目標達成の可能性				課題の取扱い		
	計画以上	目標通り	やや遅れ	遅れ	非常に高い	高い	やや低い	極めて低い	継続して完成させる	課題整理 予算縮小 が必要	中止 すべき
伊勢湾産アサクサノリの特産化に向けた研究	1	4	—	—	2	3	—	—	5	—	—
サミットのレガシーを活用した海女漁業活性化事業	—	4	1	—	—	4	1	—	5	—	—